



平成 29 年 4 月 11 日

～ 革新的なゲノム編集技術の活用を支援 ～
QB 第一号ファンド 「エディットフォース株式会社」 への出資について

西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道）は、地域の事業会社等と共同で出資している「QB 第一号ファンド」（以下「本ファンド」）において、5 件目の投資案件となる「エディットフォース株式会社（代表取締役社長 中村 崇裕）」（以下「当社」）へ出資を行いましたので、お知らせします。

当社は、国立大学法人九州大学／農学研究院の中村 崇裕准教授が起業したベンチャー企業で、当社の有するゲノム編集技術によって、農業等での新しい分野の開拓が期待されています。

当行は、地域金融機関として、本ファンドを通じて大学発ベンチャーの成長及び地域経済の活性化を積極的に支援してまいります。

記

1. 対象企業の概要

会 社 名	エディットフォース株式会社
本 社 住 所	福岡県福岡市中央区天神一丁目 9 番 17 号
代 表 者	代表取締役社長 <small>なかむら たかひろ</small> 中村 崇裕
設 立	平成 27 年 5 月
事 業 内 容	医療・農業・生物生産業への応用を目的に、PPR たんぱく質 ^{※1} を利用した核酸 ^{※2} 操作技術（ゲノム ^{※3} 編集等）の開発とライセンス事業
資 金 使 途	RNA 制御に関する研究開発および設備投資資金等

※1：PPR たんぱく質とは、同じプラットフォームで DNA または RNA の両方の核酸に対応可能なモジュール（既知のゲノム編集用核酸結合モジュールにない特徴を持つ）。

※2：核酸とは、遺伝子情報の伝達やたんぱく質の合成に関わる生命の根幹物質（RNA と DNA に大別される）。

※3：ゲノムとは、生殖細胞がもつ 1 組（ヒトでは 23 本）の染色体の DNA に含まれるすべての遺伝情報。

2. 出資の理由

本件は、革新的なゲノム編集技術を有する当社下記の点を評価し、出資を行いました。

（1）高い技術力

当社が保有する第4世代ゲノム編集技術（PPR）は他にはなく、また、日本発のゲノム編集技術として国際的に大きな注目を集めている。

（2）安全性

当社が利用する PPR たんぱく質は、植物性由来且つヒトでも存在するモチーフのため、他のゲノム編集技術と比較して安全性が高い。

（3）地域経済の活性化

九州地域の大学の研究成果を活用した新たな事業の創出及びベンチャー企業の創業支援を行うことにより、地域経済の活性化が期待される。

以 上

参 考

『QB第一号ファンドについて』

本ファンドは、当行が九州大学の特定関連会社である株式会社産学連携機構九州と共同で設立したQBキャピタル合同会社が運営するもので、九州地域の大学の研究成果を活用した新産業の創出による九州経済活性化を目的に設立されました。

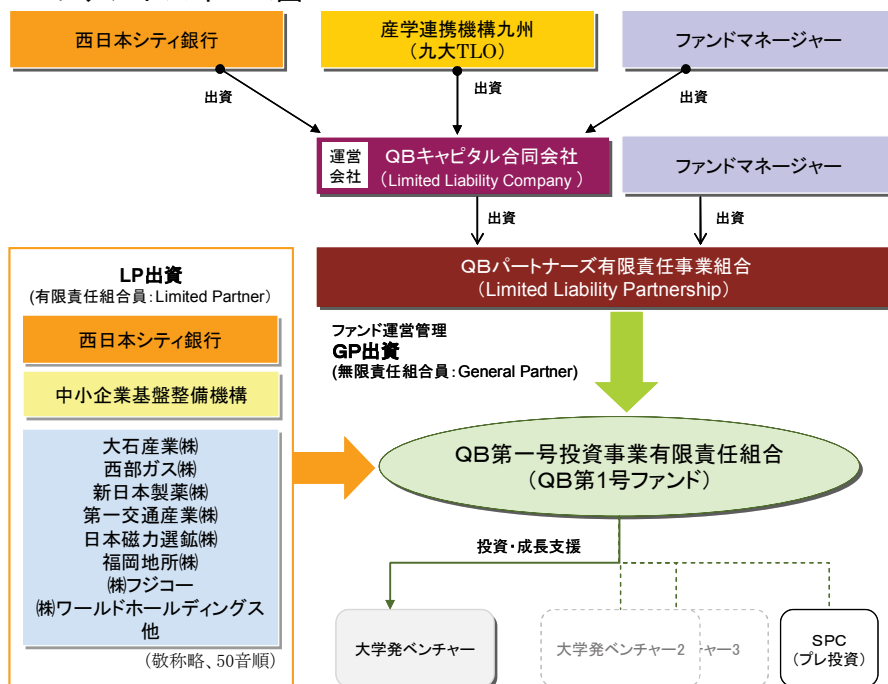
1. ファンドの概要

名 称	QB 第一号投資事業有限責任組合（通称：QB 第一号ファンド）
設 立 日	平成 27 年 9 月
フ ァ ン ド 総 額	約 31 億円
無 限 責 任 組 合 員 (GP : General Partner)	QB パートナース有限責任事業組合
有 限 責 任 組 合 員 (LP : Limited Partner)	株式会社西日本シティ銀行、独立行政法人中小企業基盤整備機構 地域事業会社 他
存 続 期 間	10 年間

2. 運営会社の概要

名 称	QB キャピタル合同会社
設 立 日	平成 27 年 4 月
所 在 地	福岡市早良区百道浜 2-1-22 SRP センタービル
出 資 者	株式会社西日本シティ銀行、株式会社産学連携機構九州 他
代 表 社 員	坂本 剛、本藤 孝

3. ファンドスキーム図



本件に関するお問い合わせ先
 法人ソリューション部 渡辺・折尾 TEL092-476-2741